

臨床栄養部

1. スタッフ（平成29年4月1日現在）

部長 医師（兼務） 石橋 俊

栄養管理室（NST支援室兼務）

栄養管理室長 佐藤 敏子
 栄養管理室長補佐 椎名美知子
 主任管理栄養士 荒川由起子
 主任管理栄養士 川畑 奈緒
 管理栄養士 渡辺 春菜
 中村めぐみ
 長嶺智重子
 小野口敦子
 三橋 由貴
 小暮亜弥子
 千葉 円香
 丹羽 紬
 樋口 千恵
 田原 美和

栄養管理室（給食担当）

専任管理栄養士 田中佐代子
 専任管理栄養士 増田真知子
 専任管理栄養士 菅原恵美子
 管理栄養士 外丸 容子

NST支援室

室長 医師（兼務） 倉科憲太郎
 医師（兼務） 坂本 博次
 医師（兼務） 高橋さとか
 医師（兼務） 山川 道代
 看護師長（兼務） 古内三基子
 看護師長（兼務） 馬場千恵子
 看護師（兼務） 戸田 浩司
 副薬剤部長（兼務） 釜井 聡子
 薬剤師（兼務） 亀田 尚香
 栄養管理室職員（兼務） 14名

給食担当

日清医療食品（パート含む） 88名
 管理栄養士・栄養士
 調理師・調理補助員

2. 臨床栄養部の特徴

臨床栄養部は栄養管理室とNST支援室の二部門体制である。平成26年10月より給食業務は日清医療食品(株)に委託している。

栄養管理（約束食事箋、給食提供法、栄養指導ほか）に関することは栄養管理委員会、NSTや栄養障害に関する

ことはNST運営委員会にて審議される。

・業務内容

栄養管理室
 患者給食マネジメント
 入院栄養管理、入院・外来栄養指導
 NST支援室
 NST業務、NST研修

・認定施設

- ・日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規定認定教育施設

・栄養関連資格

日本静脈経腸栄養学会 認定医
 NST専門療法士

病態栄養専門医
 病態栄養専門医 研修指導医
 病態栄養認定管理栄養士

NSTコーディネーター

がん病態栄養専門管理栄養士

がん専門管理栄養士研修指導師

腎臓病病態栄養専門管理栄養士

倉科憲太郎
 佐藤 敏子
 椎名美知子
 荒川由起子
 川畑 奈緒
 古内三基子
 釜井 聡子
 倉科憲太郎
 倉科憲太郎
 佐藤 敏子
 椎名美知子
 荒川由起子
 川畑 奈緒
 中村めぐみ
 長嶺智重子
 小野口敦子
 三橋 由貴
 小暮亜弥子
 倉科憲太郎
 佐藤 敏子
 川畑 奈緒
 佐藤 敏子
 椎名美知子
 荒川由起子
 佐藤 敏子
 椎名美知子
 荒川由起子
 川畑 奈緒

TNT-D管理栄養士	椎名美知子 川畑 奈緒
日本糖尿病療養指導士	佐藤 敏子 椎名美知子 荒川由起子 川畑 奈緒 中村めぐみ 長嶺智重子 小野口敦子 馬場千恵子
PEG・在宅医療研究会 専門胃瘻管理者・専門胃瘻造設者	倉科憲太郎
PEG・在宅医療研究会 認定胃瘻管理者	古内三基子 川畑 奈緒
栃木県肝疾患コーディネーター	

3. 実績・クリニカルインディケーター

1) 食事提供数

別添資料の通りである。(表1、2)

成人・小児ともに、食数は前年と比較し減少している。

2) 栄養管理体制

平成24年4月の診療報酬改定により、栄養管理実施加算は削除され栄養管理体制の確保が入院基本料の要件となった。当院では、全患者に栄養管理計画書に基づく栄養管理を継続していたが、平成27年1月より入院診療計画書作成時に「特別な栄養管理の必要性」を確認し、特別な栄養管理の理由を基に栄養管理計画を作成することとした。平成28年、特別な栄養管理の必要性「有り」の割合は70%以上であった。

3) 栄養指導件数

管理栄養士の退職や育休等により、指導担当者が不足したが、チームによる病棟担当制に変更し、指導件数を維持することができた。(表3-1、3-2)

4) NST回診件数

別添資料(表4)の通りである。

5) NST連絡会研修の開催

別添資料(表5)の通り、年2回は、下野栄養管理研究会として外部の講師を招聘し開催している。

4. 研究業績

(A) 原著論文

- 川畑奈緒, 早田邦康, 茂木さつき, 佐藤敏子, 草野英二: 慢性腎臓病患者における入院後の血清アルブミン値の推移と退院時低アルブミン血症に影響を与える因子の検討. 日本病態栄養学会誌19(4): 423-429, 2016.

(B) 学会発表

- 川畑奈緒, 南木浩二, 横塚幸代, 佐藤敏子, 宮原摩

耶子, 古内めぐみ, 古沢里絵, 小野口敦子, 三浦詩乃, 三橋由貴, 小暮亜弥子, 倉科憲太郎, 長田太助, 石橋俊, 八木澤隆: 腎移植後の臨床的指標および身体組成の変化に影響する栄養学的因子の解明. 第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜, 2016年1月10日. (日本病態栄養学会誌19(suppl), S-125, 2016)

- 宮原摩耶子, 佐藤敏子, 馬場千恵子, 倉科憲太郎, 岡田健太, 石橋俊: 糖尿病透析予防コースの取り組みー糖尿病腎症3期食事療法支援の経験からー. 第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜, 2016年1月10日. (日本病態栄養学会誌19(suppl), S-128, 2016)

- 古内めぐみ, 村越美穂, 佐藤敏子, 遠藤径世, 古内三基子, 倉科憲太郎, 西野宏: 頭頸部癌症例に対するセツキシマブ併用放射線治療におけるアバンドTM使用経験. 第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜, 2016年1月10日. (日本病態栄養学会誌19(suppl), S-134, 2016)

- N Kawabata, K Nanmoku, T Sato, T Kimura, T Yagisawa, K Kurashina, D Nagata: The role of diet and physical activity in body fat mass gain after renal transplantation. 18th International Congress on Renal Nutrition and Metabolism, 沖縄, 2016年4月22日.

- 川畑奈緒, 南木浩二, 佐藤敏子, 小暮亜弥子, 木村貴明, 倉科憲太郎, 長田太助, 八木澤隆: 腎移植後の臨床的指標および身体組成の経時的変化に影響する栄養学的因子に関する前向き観察研究. 第4回日本腎不全栄養研究会学術集会・総会, 神戸, 2016年6月26日. (第4回日本腎不全栄養研究会学術集会・総会, プログラム・抄録集, 31, 2016)

(C) その他

- 佐藤敏子: ワークショップ1「栄養管理計画」. 第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜, 2016年1月9日.
- 小暮亜弥子, 倉科憲太郎: 講演「胃癌患者に対する栄養指導」. T-CARE, 栃木, 2016年7月21日.
- 荒川由起子: 講演「緩和医療の栄養管理胃瘻造設後、緩和医療において栄養サポートを実施した食道癌の一例」. T-CARE, 栃木, 2016年7月21日.
- 佐藤敏子: 講演「低栄養及び嚥下機能低下の患者に対する栄養指導の実際」. 女子栄養大学香友会主催 平成28年度第1回専門家講座, 東京, 2016年7月31日.
- 小野口敦子: ケースカンファレンス「心不全外来における減塩サポート」. 第3回PDN那須セミナー, 栃木, 2016年9月18日.
- 佐藤敏子: 講演「診療報酬改定と栄養部門の経営管理」. 第21回日本給食経営管理学会研修会, 山梨, 2016年9月24日.
- 小暮亜弥子: 講演 ワークショップ「臨床研究の実

際」.平成28年度 国公立大学病院医療技術関係職員研修,東京,2016年10月6日.

8. 椎名美知子:講演「クローン病の栄養管理について」.宇都宮市保健所 難病医療生活相談会,宇都宮,2016年11月25日.

5. 2017年の目標・事業計画等

1) 栄養管理室

①新電子カルテにおける体制の整備

- ・栄養管理計画書による栄養管理体制
- ・給食、栄養食事指導システム等の整備

・実施状況評価の体制整備

②ニュークックチル導入に向けて

・献立、調理体制の準備

2) NST支援室

①病態に即した適正な栄養療法の提供

②栄養障害のある患者の抽出:栄養スクリーニング・アセスメントの周知

③栄養管理・栄養療法に関する医療従事者向け研修会の開催

④摂食・嚥下チームの院内運用促進

表1 平成28年 提供患者数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
延提供患者数	59,752	63,233	67,141	62,506	62,508	63,129	65,128	68,684	64,484	67,426	63,412	65,298	772,701
1食平均提供患者数	643	727	722	695	672	701	700	739	716	725	705	702	8,447

平成28年 選択メニュー実施食数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
選択メニュー実施食数	79	90	86	104	104	98	89	90	111	72	100	119	1,142

表2 平成28年 食種別提供延べ食数

<成人>

食種名	延べ食数
基本食A	75,007
基本食B	183,614
基本食A B Na制限	42,850
基本食Bカット	7,556
高蛋白食A	331
高蛋白食B	1,745
高蛋白食A B Na制限	112
貧血食	178
じょく婦食	11,180
妊娠高血圧食	1,611
1000kcal食	428
1200kcal食	3,567
1400kcal食	16,695
1600kcal食	25,138
高蛋白1600kcal食	90
1800kcal食	9,474
高脂血症1000kcal食	117
高脂血症1200kcal食	305
高脂血症1400kcal食	1,099
高脂血症1600kcal食	1,659
高脂血症1800kcal食	235
エネルギー制限食(軟菜)	8,883
エネルギー蛋白コントロール食A	6,437
エネルギー蛋白コントロール食A(軟菜)	1,272
エネルギー蛋白コントロール食B	9,434
エネルギー蛋白コントロール食B(軟菜)	4,597
エネルギー蛋白コントロール食C	26,036
エネルギー蛋白コントロール食C(軟菜)	10,464
脂肪制限食1	2,808
脂肪制限食2	5,155
七分菜食	40,203
術後七分菜食	3,137
術後七分菜食<6>	2,762
五分菜食	17,978

食種名	延べ食数
プレカット食	10,213
低刺激ソフト食	6,315
セルフミキサー食	166
半流動食	7,926
C D食<七分>	399
C D食<五分>	329
C D食<三分>	184
嚥下評価食	204
嚥下練習食A	1,516
嚥下練習食B	1,067
嚥下練習食C	3,460
嚥下移行食	7,991
嗜好食	4,163
8Sなごみ食	2,034
なごみ食	13,789
術後流動食1	85
術後流動食1<6>	89
術後流動食2	3,013
術後流動食2<6>	623
経口流動食1	482
経口流動食2	3,107
経口流動食3	5,272
YHフローレ	1,853
テルミール2.0α	5,535
リーナレンLP	4,758
インパクト	418
テルミールソフトM	1,735
PGソフトEJ	305
グルセルナEx	896
K-5S	13,288
REF-P1	8,404
ハイネイゲル	10,400
アイソカル1.0ジュニア	1,301
特別指示食	326

<小児>

食種名	延べ食数
乳児用ミルク	36,549
特殊ミルク	14,532
離乳準備食	52
離乳開始食	209
離乳基本食A	1,331
離乳基本食B	1,381
離乳基本食C	1,982
幼児基本食A	4,010
幼児基本食B	7,707
幼児基本食C	5,850
学童基本食A	10,149
学童基本食B	8,655
学童基本食C	12,584
学童食A 5g	84
学童食B 6g	59
学童食C 6g	332
脂肪制限食<幼児B>	275
脂肪制限食<幼児C>	250
脂肪制限食<学童A>	642
脂肪制限食<学童B>	231
脂肪制限食<学童C>	137
術後七分菜食<学童A>	227
術後七分菜食<学童B>	97
術後七分菜食<学童C>	232
小児腎炎食	-
小児ネフローゼ食	-
小児特別指示食	16
小児流動特別食	135
術後食<小児>	4,856
検査食<小児>	0
合計	112,564

術後五分菜食	2,170	流動特別食	192
術後五分菜食<6>	1,834	加熱食	2,703
三分菜食	7,436	検査食	1
術後三分菜食	2,101	術前食	611
術後三分菜食<6>	1,340	LM食A	106
低残渣食	13,393	上記の食種以外のもの	731
易消化食	4,274	合計	680,695

表3-1 平成28年 個人栄養指導件数

栄養指導人数	合計				総計			
	外来		入院		外来	入院	計	平均 (人/月)
	初回	再来	初回	再来				
エネルギー制限	396	1356	286	81	1752	367	2119	176.6
エネルギー制限・6回	114	120	18	7	234	25	259	21.6
コレステロール制限	40	97	1	0	137	1	138	11.5
脂質制限	33	30	19	3	63	22	85	7.1
食塩制限	61	93	147	43	154	190	344	28.7
高蛋白食	1	0	2	0	1	2	3	0.3
エネルギー蛋白コントロール食 カリウム制限なし	30	212	19	0	242	19	261	21.8
エネルギー蛋白コントロール食 カリウム2400mg	24	134	17	3	158	20	178	14.8
エネルギー蛋白コントロール食 カリウム2000mg	38	208	50	6	246	56	302	25.2
エネルギー蛋白コントロール食 カリウム1500mg	61	194	75	24	255	99	354	29.5
CD食	16	6	8	1	22	9	31	2.6
低残渣食	7	12	28	2	19	30	49	4.1
易消化食	2	1	1	0	3	1	4	0.3
消外術前	0	0	0	0	0	0	0	0.0
術後6回食	9	13	148	4	22	152	174	14.5
術後食	1	0	2	0	1	2	3	0.3
半流動食	7	3	21	0	10	21	31	2.6
嚥下移行食	1	0	4	1	1	5	6	0.5
幼児基本食	1	5	0	0	6	0	6	0.5
幼児脂制	0	0	0	0	0	0	0	0.0
学童基本食	20	60	4	2	80	6	86	7.2
学童脂制	0	4	0	0	4	0	4	0.3
学童減塩	0	0	0	0	0	0	0	0.0
妊娠高血圧食	2	2	0	0	4	0	4	0.3
貧血食	1	0	0	0	1	0	1	0.1
糖尿病透析予防指導	1	2	0	0	3	0	3	0.3
NST	8	56	0	0	64	0	64	5.3
その他	15	27	71	6	42	77	119	9.9
計	889	2635	921	183	3524	1104	4628	385.7
合計(人)	4628				4628			

表5 平成28年度 NST研修会

	開催月日	内容	講師
-	平成28年4月19日(火) 17:45~19:00 研修センター 中講堂	第20回下野栄養管理研究会 「胃瘵患者に対する在宅栄養療法支援の取り組み」 「チーム医療を支えるために各職種に期待すること-栄養サポートチーム看護師としての活動から見えてきた事-」	看護部 古内 三基子 看護師 (NST専任看護師) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 看護師・NST専門療法士 森 みさ子 先生
1	平成28年5月10日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	栄養管理の重要性、栄養に関する生理機能 栄養評価 (アセスメントとプラン)	消化器外科 倉科 憲太郎 医師 (NST運営委員長) 臨床栄養部 川畑 奈緒 管理栄養士 (NST専任管理栄養士)
2	平成28年6月7日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	消化器の機能とその評価・栄養法の選択 栄養管理に必要な検査	消化器内科 坂本 博次 医師 (NST運営委員) 臨床検査部 廣澤 恵 臨床検査技師 (NST運営委員)
3	平成28年7月5日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	アクセスデバイス (EDチューブ・PEG等) の指導と管理 簡易懸濁法について	看護部 古内 三基子 看護師 (NST専任看護師) 薬剤部 亀田 尚香 薬剤師 (NST専任薬剤師)
4	平成28年8月2日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	経腸栄養について (プラン・モニタリング) 経腸栄養から経口栄養への移行について	臨床栄養部 川畑 奈緒 管理栄養士 (NST専任管理栄養士) リハビリテーションセンター 富樫 結香 言語聴覚士 (NST運営委員)
5	平成28年9月6日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	静脈栄養について (輸液カテーテル管理、感染管理、プラン・ モニタリング)	感染症科 大西 翼 医師 薬剤部 釜井 聡子 薬剤師 (NST専任薬剤師)
-	平成28年10月4日(火) 17:45~19:00 (予定) 研修センター 中講堂	第21回下野栄養管理研究会 「早期経腸栄養の重要性と消化態栄養剤の 活用について」	滋賀医科大学附属病院 栄養治療部部长・病院教授 佐々木 雅也 先生
6	平成28年11月1日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	血糖コントロールと栄養管理	内分泌代謝科 岡田 健太 医師 看護部 馬場 千恵子 看護師 (糖尿病看護認定看護師・NST専任看護師) 臨床栄養部 荒川 由起子 管理栄養士 (NST専任管理栄養士)
7	平成28年12月6日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	肥満症患者の栄養管理	消化器外科 春田 英律 医師 四谷メディカルキューブ 吉川 絵梨 管理栄養士 武澤 歩惟 運動指導担当者
8	平成29年1月10日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	腎障害における栄養管理 腎機能低下時の経腸栄養剤	腎臓内科 小林 高久 医師 臨床栄養部 椎名 美知子 管理栄養士 (NST専任管理栄養士)
9	平成29年2月7日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	摂食・嚥下障害患者の機能と評価、栄養管理	耳鼻咽喉科 高橋 さとか 医師 臨床栄養部 椎名 美知子 管理栄養士 (NST専任管理栄養士)
10	平成29年3月7日(火) 18:00~19:00 研修センター 中講堂	摂食・嚥下障害患者への支援	歯科口腔外科 若林 宣江 歯科衛生士 看護部 戸田 浩司 看護師 (摂食・嚥下障害看護認定看護師・NST専任看護師)

(栄養管理のための専門的な知識・技術を有する看護師、薬剤師及び管理栄養士等の養成を目的とした研修)